

**B** 2022/5/22(日)9:50-12:50

## 「医師も驚く褥瘡治療に不可欠な薬剤師の視点」

### 講座情報

褥瘡は医療者の間で難治性疾患として認識されています。しかし、薬剤師の視点が褥瘡治療の常識を覆すこととなります。薬剤師の視点はまず基剤特性が主薬を活かすために不可欠な存在になり、またその特性は褥瘡治療において重要な機能をもたらします。その機能とは滲出液による水分コントロール／インバランスに影響し、細胞外マトリックス複合体の生成にも関係します。主薬の効果は基剤の特性が創面の湿潤状態に合致していることが条件となります。また皮膚のたるみは創内の薬剤滞留を阻害するため、それを防止する視点が重要になります。これは古田メソッドとして認識されるようになり、薬剤師による治せる褥瘡治療として注目されています。

### 《学習到達目標》

・褥瘡治療に関係する病態、湿潤調節によるブレンド軟膏、薬剤滞留のための創固定

### 講演者情報

#### 古田 勝経

医療法人愛生館 小林記念病院 褥瘡ケアセンター長、国立長寿医療研究センター 研究員

### プロフィール

#### <略歴>

1976年3月 名城大学薬学部卒

1976年4月 国立名古屋病院 薬剤科

1983年4月 厚生省 環境衛生局 家庭用品安全対策室

1990年4月 国立療養所東名古屋病院 副薬剤科長

2004年3月 国立長寿医療研究センター 副薬剤部長

2010年4月 国立長寿医療研究センター 臨床研究推進部 高齢者薬物治療研究 室長

2015年4月 医療法人愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター長 国立長寿医療研究センター 薬剤部研究員 現在に至る

#### <主な所属学会等>

日本褥瘡学会・評議員(ガイドライン改訂WG委員・外用薬リーダー)

学術教育委員会・薬剤師教育作業部会委員

皮膚褥瘡外用薬学会・理事長

NPO 法人褥瘡サミット代表

## 主要著書

これで治る！褥瘡「外用薬」の使い方(照林社)

褥瘡治療薬使いこなしガイドー治らなかった褥瘡がフルタ・メソッドで治る(じほう)

早くきれいに褥瘡を治す外用剤の使い方(照林社)

褥瘡治療薬ナビ(じほう)

褥瘡治療外用材レシピ(照林社)